

教育目標	「学園は、教える者と教えられる者とが、相互の信頼によって相互に生かされる精神的な共同体」という理念の下、知・徳・体を錬成し、調和ある人間像を確立する。						
経営方針	「自律的な精神」、「思考力と創造的な知性と技量」「自然愛や人間愛を大切に作る豊かな情操」を培う。 また、日本人としての美德を育て、実践的な社会性を養うとともに、国際化・情報化社会のフロントランナーとして、社会貢献できるフェアなリーダーとしての資質を培う。						
重点目標	I 学習指導の充実	II 進路指導の充実	III 心豊かでさわやかな生徒の育成	IV 広報・渉外活動の充実	V 教育施設・設備の活用		
項目	令和5年度具体的な方策または評価項目を評価する具体的な指標 ※【 】は数値的目標	令和4年度実施結果(成果は○、改善すべき事項は◇) ※丸数字は左欄丸数字の項目に対応	評価	学校自己評価		学校関係者評価	
				教員コメント (70名)		学校関係者評価委員コメント (8名)	
I 学習指導の充実	①生徒の意欲が高まるような分かる授業を実践するとともに授業改善に努め、授業アンケートの結果向上を図る 【生徒の授業満足度(満足+どちらかといえば満足の比率)95%】 【授業満足度調査(生徒)を年2回実施】 ②各科、各クラス間、各教員間の指導の格差を改善し、指導を共通化する ③定期テスト後に教科会議を開催し、学力定着度の検証及び教科指導の改善を行う ④各教科でテーマを設定した研究授業を行い、授業力の向上に努める	①○授業満足度調査を2回実施し、【生徒の授業満足度(「満足」+「どちらかといえば満足」の比率)】は93.5%と、目標に近い数値となった。授業満足度調査の結果の教員へのフィードバックも実施された。 ②◇各科、各クラス間や教員間の指導の格差がまだまだ大きいため、更に改善が必要である。 ③○教科会議を毎週行える状況(時間割)があり、指導の改善のための教科会議が実施されている。 ④◇研究授業が充分には実施されなかった。	A 27% B 60% C 10% D 3%	・普通コースの土曜日授業について、有欠者が多く、授業の進度に大きな影響が出てしまっている。 ・1～2年目の若手教員に対しても大量の業務を与えているため、彼らは日々の業務をこなすだけで精一杯になってしまい、授業準備に時間や労力を割けないと思う。業務量を減らしてゆとりを持たせることによって、授業準備に時間や労力を割けるようにしてほしい。 ・ある程度実施されているが、指示を受けているのにも拘らず改善できていない教員もいる。徹底して授業改善を行っていきたい。 ・普通科・英数科、または教科による授業の温度差が大きい。生徒を寝させない、しっかりとした授業をやるべきである。 ・クラスによって、教科ごとの時間割に著しい偏りがある。非常勤講師の割合が高い為かもしれないが、生徒の不利益にならないようにすべきである。 ・進路決定者が大半となったHR・授業であっても、受験者がいる場合、その教科を受験する生徒がいる場合は、最後まで教科指導の授業を実施する必要がある。安易に自習としない。 ・授業放棄のような突っ伏した生徒への指導。イエローカードの使用も必要か。 ・教科会議の議題が中学、高校入試の問題に関するものが中心で、定期テストの振り返りなどは不十分だった(数学)。 ・集団の目的に沿った授業の構成やテスト難易度の調整ができた。 ・授業アンケートのフィードバックが遅かった(前期の結果のフィードバックが2月末)。 ・学年の学力に応じた授業レベルを模索し、改善しながら学力の伸長を図った。 ・各教科における公開授業・研究授業の実施がなされず、教員間での切磋琢磨がない。 ・教員の授業により格差があるように見受けられる。個人の授業研究は重要であるが、優秀な教員やベテラン教員の授業を積極的に見学する姿勢も必要である。 ・教科書や文法書に書いてあることについて、何ら工夫もなくそのまま教えるのでは、生徒は混乱するだけで、授業も充実したものにはならない。 ・学習のプロたる教員が教材研究や授業のための勉強をしていない。受験指導への意識が低すぎる。研修をせよという指示がある割には、行われていない。全教員が研修実績を提出する形で学習・研究に取り組まなければならないのではないか。 ・自習となる授業が多いのではないか。		A 12.5% B 87.5% C 0% D 0%	・授業中の居眠りについて 居眠りという課題への対策として、居眠りは生徒の問題なのか？教員(学校側)問題なのか？居眠りをする学年、コース別のクラス、教科、所属部活、担当教員などの側面から、どのような授業に居眠りが多いのか？また、居眠りのない授業の傾向を把握する必要がある。居眠り有り無し授業にどのような違いがあるのかを分析し、改善を図るヒントにしていきたい。そのうえで、優秀な教員やベテラン教員の授業を見学することはとても良いことであり、授業の妨げにならない配慮をしつつ、参考になる授業は積極的にベンチマークすべきである。 また、授業の様子を録画もしくはリモートでの視聴環境を作り、オンデマンドでの学習の場をステイクホルダーへ提供することで、藤枝明誠のブランド価値向上に繋がるのではないかと。資料面での制限の設定は必要だが、教員のためのみならず、以下の場面での利用を考えてもよいと思う。 *生徒の授業の復習の場として(生徒専用サイトでの利用) *授業の雰囲気や中学生及び保護者へDXを使って提供(HPでの公開) *教員の人材育成のツールとして これらの企画をプロジェクトとして立ち上げ、可能であれば公募型で担当する教職員を募り、実施させることで、経営へのかかわりや業務革新への意識向上に繋がると思う。 さらに、教員の競い合いの意識を高めるうえで、教員や生徒へのアンケートをもとに、評価の高い教員には何らかのロイヤルティ(表彰、人事評価、報奨金、報奨品)があると人材育成の即効性も高まるのではないかと。 最後に、教員コメント欄に指導の一環として「イエローカードの使用」とあるが、居眠りの責任が生徒側にあることの判断がつかないうちは実施すべきでない。 ・生徒の授業満足度の比率が高く、安定した教育の様子がうかがえる。 ・名前を記入しなければならないアンケートで生徒がすべて本音で回答できるとは思えない。 ・先生方の負担が減り、指導力を向上させるような仕組みづくりをしてほしい。

				<ul style="list-style-type: none"> ・学年が上がるにつれて普通科で授業中居眠りをする生徒が増えている。これは教員だけの問題ではなく、学校経営の問題である。 ・教科を超えた研修を期待している。 ・教科によって教員への指導員がいる教科といない教科がある。いない教科はやはり若手の授業力不足が気になる。 ・生徒への授業アンケートによって具体的な改善策が示されない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・複数の学科あり、目的も異なった生徒が集まるので、各々のモチベーションにも温度差があると思うので、仕方のない部分もあるが、進路希望先などによって更に教科ごとの細分化があってもよいかもしれない。 (ただし、人的リソースにも限りがあるので、どう効率よく運用できるか…) ・コメントから、先生方はご自身側を厳しく評価されていると思う。指導格差があるとのことだが、授業満足度調査結果は高い数値となっている。 ・土曜日の授業内容は考えた方がよいと思う。 ・居眠りをする生徒が増えているということは学習意欲が低いということなので、周りの生徒に影響を与えないようにしてほしい。 ・冬、エアコンの効きがよく、温かくて気持ちよくなり、眠くなるという生徒がいるらしい。 ・若手教員は大変だと思うが、やりきってほしい。時間は工夫して自分で管理するもので、授業準備は必ず行う。 	
学力の定着と向上に向けたきめ細やかな指導	<p>①放課後プロジェクトや「9時まで学習」の一層の活性化を図る 【9時まで学習参加率65%以上目標】</p> <p>②予習、復習、宿題の提出・点検指導等の徹底を図る</p> <p>③英語検定指導等を継続して組織的に行う 【英検2級300名以上、準1級20名以上】</p> <p>④学力の基礎である国語力(文章読解や表現力)の向上のための取り組みを行う 【論理エンジンの有効活用・指導】</p> <p>⑤国際教養教育を推進する</p> <p>⑥普通科生徒の学力・学習意識向上のための指導を実施する</p> <p>⑦大学入試に対応した問題を定期テストに導入する</p> <p>⑧家庭学習を充実させるため、オンデマンド教材の配信が実施できるように環境を整備し、配信を実施して学力の定着と向上に努める</p> <p>⑨ICTを利用したオンライン授業が実施できるように環境を整備し、休校時等のオンライン授業実施に備える</p>	<p>①◇図書室における放課後プロジェクトの参加は前年並みであった。</p> <p>○例年以上に職員室及び職員室前フロアで、積極的に個別指導を受ける生徒は増加した。</p> <p>○「9時まで学習」の参加率は、64%で前年度の69%よりやや減少したが、国語・数学・英語における特別補講の参加者は盛んであった。</p> <p>②○各教科・各学年において、細かな指導が実践された。また『明誠ダイアリー』を利用した学習習慣確立のための指導が各クラスで実施された。</p> <p>③○【英検2級取得者数287名、準1級取得者数19名】英検2級取得者数が増加しており、英語の学力が全体に底上げされている。</p> <p>④○論理エンジンによる指導が実施されているが、引き続き国語力向上に努めたい。</p> <p>⑤◇Dream Gateway Programは実施されたが、感染症予防措置の継続により国外からの教育訪問団との交流は実施されず、グローバルな視点の涵養が充分にはなされなかった。</p> <p>⑥◇各学年、教科毎に対応を行っているが、統一した計画による実施には至らなかった。</p> <p>⑦○各教科において、大学入試共通テストに向けて定期テスト等の工夫を行っている。</p> <p>⑧○スタディサプリを全生徒が使用できる状態になり、高校では到達度テストによるフィードバックも行われた。</p> <p>⑨○Wi-fi環境及びプロジェクターの全教室設置が行われ、授業時に活用された。</p> <p>◇学級閉鎖時等に中学ではオンライン授業配信を行うことができたが、高校では実施に至らなかった。</p>	<p>A 33%</p> <p>B 61%</p> <p>C 6%</p> <p>D 0%</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・一定の教員に負担がかかりすぎているように思う。 ・各教員のスキルに任せられているところがあり、教科毎に具体策を見いだす必要がある。 ・放課後に補習をする教員が増えてきているが、良い傾向であると思う。古典の補習を実施しているようであるが、国語の実力を向上させる上でも、このような補習が充実していくことがのぞましい。 ・放課後の指導や補修は精力的に行われた。 ・学力の定着を目指す目的で導入されたスタディサプリだが、教員が生徒の取り組み、あるいは動画や教材の内容をチェックしているかは疑問である。指導の癖のあるものも結構あるから、薦められるものとしてでないものの区別や検討をしていかなければならないと思う。 ・サプリはクラスにより学力差が大きく、焦点を当てにくい場面があるが、基礎をしっかりとやらせる授業が多い。 ・生徒の個々に寄り添ってできている。 ・9時まで学習に続いて1、2年生の8時まで学習が始まったが、まだ参加率は低い。 ・小テストの内容を定期テストに繰り込むことによって、やる気と反復を促し、定着を図った。 ・業務が忙しくて明誠ダイアリーの定期的な回収・点検ができなかった。 	<p>A 25.0%</p> <p>B 75.0%</p> <p>C 0%</p> <p>D 0%</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・9時まで学習は先生方の努力の賜物だと思う。 ・スタディサプリの活用が不十分だと思う。 ・英検取得者数の増加がみられ、素晴らしいと思う。 ・ICTを活用した授業実施ができていないのは問題である。近年では生徒がPCを使いながら授業を進める学校が多い。プロジェクター等の利用だけでは弱いと思う。 ・「補講はとて役に立った」「9時まで学習に参加することで友だちと励まし合いながら頑張れた」という声があった。年末年始にも学校を開放して下さった。 ・補習の充実や英語学力の全体的引上げについて評価できる。 ・英検2級取得者が多くなっている。英語に力を入れることは大学入試にとってもよいことだと思う。 ・Dream Gateway Programはとても良かった。国際教養コースだけでなく、他の科・コースの興味ある生徒の参加もあってもよいと思う。 ・明誠ダイアリーは家に置きっぱなしで、学校へは持って行っていない。 ・8時まで学習は集中して勉強できてよかった。 ・担任の先生が8時まで学習に来るように何回も声をかけて下さったおかげで、テスト前だけだったが、8時まで学習に参加するようになった。 ・先生方のきめ細やかな指導の積み重ねは、必ず生徒の力になってくると思う。引き続き、指導に力を入れていただきたい。

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">ロ 進路指導の充実</p>	<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">進路希望の達成に向けたきめ細かな指導</p>	<p>①進路講話や個別面談、総合的な学習等(キャリア教育の推進を含む)により目標設定と進路意識の早期確立を図る</p> <p>②教員の教科・進路指導の力量向上を図る</p> <p>③教科検討会で模擬試験結果の検討を行い、生徒各個人に対応した指導を行う</p> <p>④生徒の満足度の高い進路指導を行い、大学への現役合格達成を図る</p> <p>【現役合格 95%】</p>	<p>①○高校1年生の進路ガイダンスでは本年度は河合塾「Rキヤップ」を使い、文理選択研究の一助とした。後期は外部講師による大学選びについて講演を行い進路意識の高揚に役立てた。</p> <p>○高校3年生対象の大学説明、高校2年生対象の学部・学科説明、生徒たちが熱心に説明を聞き、進路目標の設定・進路意識の高揚に大きな意義があった。</p> <p>○高校2年生で活用した『志望理由書・マスターノート』は、新入試に対応する教材として今後も活用したい。</p> <p>②○駿台の夏季研修に、26名の先生方が参加され指針の指導力向上に取り組まれた。</p> <p>③◇外部模試後の分析・検証の機会が持てなかった。</p> <p>④○四大志望者の大学現役合格率は96.8%で、目標の95%を上回った。また浪人も12名(在籍数の3.6%)で「現役主義の明誠」の目標に近いものとなった。</p>	<p>A 46%</p> <p>B 47%</p> <p>C 6%</p> <p>D 1%</p> <p>・進路に関するガイダンスが充実しており、良好である。</p> <p>・9時まで学習や、各学年の放課後プロジェクトの実施等の積み重ねで学習効果の向上がみられているように思う。</p> <p>・進路関係のイベントは成功していると思う。</p> <p>・生徒のやる気を後押しする行事や講話が良い。</p> <p>・教員側にも進路指導の研修を開いてもらえると助かる。</p> <p>・一定の教員に負担がかかりすぎているように思う。</p> <p>・綿密な生徒面談をくり返し、きめ細かな指導ができています。</p> <p>・普通科の生徒が推薦をあてにして、「評定だけ稼げばよい」と考え、定期テスト前以外にほとんど勉強をしない。推薦の基準を厳しくするなどして、「学習習慣を身につけないと大学には進学できない」という意識を持たせるべきだと思う。</p> <p>・国公立大学への合格も大事だが、難関私大への合格指導もしっかりできるようにしていきたい(総合型や学校推薦型など)。</p> <p>・全体として同じ方向を向かせつつも、指導は画一化を避け、個々の進路をコーディネートする姿勢が見られている。</p> <p>・教員間で共有されておらず、知っているだろうという前提で話が進んでいくため、不親切だと感じる点は多い。</p>	<p>A 50%</p> <p>B 37%</p> <p>C 12%</p> <p>D 0%</p> <p>・進路指導の充実には進路指導をする先生方の指導レベルに比例すると思う。</p> <p>・先生方自身も前向きに取り組まれていると思う。</p> <p>・入試の方法も年々変化しているので「総合型」「学校推薦型」などをさらに活用していくのもよいと思う。</p> <p>・生徒個々に対しての指導は担任頼りになることが多く、他の先生方にも頼れる仕組みがあると、先生方の負担も偏ることがないかと思う。</p> <p>・「英数科」と「普通科」の学校推薦について、生徒の間でも普通科は指定校推薦受験が容易にできるという意識がある。これはお互いによくない影響を与えることもあるのではないかと。</p> <p>・進路に関するガイダンスや大学進学に向けた講話や指導を早めにやっていただけることによって、生徒自身の進路も早めに見えてくる。よいと思う。</p>
	<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">難関大学等の合格に向けた指導</p>	<p>①国公立大学及び難関・中堅私立大学に合格できるような学習・進路指導を推進する</p> <p>・国公立大学の総合型・学校推薦型選抜にも積極的に挑戦する(学研小論文講座の活用)</p> <p>【第3学年 進路目標】</p> <p>東大・京大・国公立大医学部→複数合格</p> <p>旧帝大→12名以上</p> <p>国公立大→80名以上(静岡大・静岡県立大・静岡文芸大→40名以上)</p> <p>早・慶・上→10名以上、</p> <p>GMARCH・東京理科・関関同立→80名以上)</p> <p>②旧帝プロジェクト(上位層の強化)</p> <p>③共通テスト対策講座</p> <p>※②、③共に「9時まで学習」の時間を活用</p> <p>④医進プロジェクトで国公立大医・薬等の指導強化</p>	<p>①◇2023年度入試の国公立大学合格数は、総合型選抜・学校推薦型選抜22名(昨年13名)、前期52名(昨年36名)、中後期18名(昨年11名)で計92名(昨年60名)であった。在籍数に対する国公立合格者の割合も28%となり、23期生以来最も高い割合となった。国公立医学部合格2、そして地元の静岡大合格14、静岡県立大合格17の複数合格はここ数年では最大の数となった。難関私大は、早稲田大2名、東京理科大3名、明治大4名、青山学院大4名、立教大5名、中央大13名、法政大7名、関西大2名、関西学院大5名、同志社大3名、立命館大14名、計63名(昨年39名)であった。</p> <p>②◇最難関大学に挑戦する学力トップ層への指導は、旧帝プロジェクトで行ったが、ノウハウを継承するためにも、中堅・若手職員も参加しチームでの受験指導体制を構築すべきである。</p> <p>③○各教科とも放課後の個別指導には積極的に取り組んでいただけた。また「9時まで学習」を利用して、国語・数学で定期的に共通テスト対策を意識した講座を実施していただいた。</p> <p>④○国公立大医・薬学合格6名、薬学10名、歯学科4名であった。</p>	<p>A 44%</p> <p>B 48%</p> <p>C 7%</p> <p>D 1%</p> <p>・上位者に対しては個別指導などを通して建設的に行われている。</p> <p>・難関大学合格に囚われて中間層を伸ばす取り組みがされていない。</p> <p>・旧帝プロジェクトが定番化してきた。各教科にもっと広がればよい。特に、国語の現代文について中学生・高校1年生から手をかけてほしい。</p> <p>・旧帝プロジェクト等で実施できた。</p> <p>・東大、医学部、難関国公立への挑戦と合格実績が指導実績である。</p> <p>・各教科で個別対応もされており、組織的にも各職員のにも充実してきた。</p> <p>・講座が充実している</p> <p>・一定の教員に負担がかかりすぎているように思う。</p> <p>・各教員のスキルに負うところが多分にあり、抜本的な対策はなされていないのが現状ではないか。</p> <p>・アドバイスをしているが、やはり塾頼みになっているのでは。</p> <p>・理系の難関大学合格には、理科の成績が合否に大いに影響すると思う。理科(物理・化学)の常勤の先生がもう少し必要かと思う。</p> <p>・目標として東大、京大をあげているが、実際には受験者、合格者が毎年出るような学校には至っていない。</p> <p>・「難関大学合格」を掲げているが、実際には学校挙げての指導は感じられない。大部分が担任の力量、その学年の教科担当で決まる。</p>	<p>A 12%</p> <p>B 87%</p> <p>C 0%</p> <p>D 0%</p> <p>・難関大学合格者を増やすためにも、教える教員が対応できるようにしていただきたい。</p> <p>・9時まで学習が有意義な学習の場になるのなら、よいと思う。</p> <p>・早くから大学受験を見据えた中高一貫校のメリットをいかして、今後も取り組んでいっていただきたい。</p> <p>・共通テスト直前までカリキュラム(教科書(授業)内容)が消化できていなかったことは、受験生にとって大変不安になる。進捗に余裕があることが、生徒の精神的な安定につながると思う。</p> <p>・文系の社会、理系の理科。これらの科目(生物、政経、倫社など)をうまくフォローできるようにすることを望む。</p> <p>・塾に行かなくても、難関大学へ入学できたら、すばらしい。</p> <p>・国公立大学合格者が高い水準となり、先生方の指導のおかげだと思う。</p> <p>・今後、総合型選抜・学校推薦型選抜が増加する。そういった選抜方法に対する対策も必要になると思う。</p>

目 心豊かでさわやかな生徒の育成	社会性や道徳心の育成	<p>①礼節を重視し、様々な場面でマナーや社会的規範意識を育成する 正門での礼や予鈴黙想の励行、HRでの朝終礼時の指導・国旗、校旗の掲揚指導・校長講話等</p> <p>②校内外の美化や教室等の整理整頓に対する指導</p> <p>③交通ルール、マナーの指導を通し、危険察知と思いやりの心を育み交通事故防止を図る 【「命のメッセージ展」実施 5/8～5/19の2週間】 【交通事故10件以内】</p> <p>④德育を強化し、思いやりの心を育成するとともに問題行動の発生を防止する</p> <p>⑤生徒の観察、生徒面談、いじめアンケート等を活用して、いじめ防止に取り組む 【いじめアンケート年3回実施、 学校生活アンケート年3回実施】</p> <p>⑥スマートフォンの使用法などSNSについての啓発を行い、問題発生を防止する 【「スマホ安全安心講座」実施・「スマホの17の約束」配布と家庭での約束作り（地区会）】</p> <p>⑦教員の生徒指導力、クラス経営力向上のための研修（救急救命法、生徒指導、スマホ安全安心講座）の研修を実施する</p>	<p>①○礼節指導を継続して指導した。挨拶等は良好である。 ◇校外での社会道徳や一般常識の一層の向上が必要である。</p> <p>②教室の整理整頓はHRにより差はあるが、担任の指導により生徒の意識向上が見られる。</p> <p>③○サッカー部、陸上部、野球部等の清掃活動により、校内や学校周辺の清掃・除草等環境美化に貢献した。 ○トイレ清掃・教室内整理整頓・水回りの清掃指導を実施した。</p> <p>④○職員による登校時の街頭交通指導により交通安全意識の向上も見られた。生徒課による下校時の街頭指導を実施した。 ◇地域住民から、交通マナーについての苦情が時折寄せられた。主に一時停止不履行・併進等、先生方の指導が浸透しない生徒もおり、繰り返しの指導が必要である。 ・教育講演「命の大切さを学ぶ教室」を実施した。 ◇交通事故は令和3年度9件、4年度は15件に増加。ほとんどが軽微な事故であるが、重大事故に繋がらないように日常の指導を継続した。自転車施錠点検を実施したところ、施錠車率は向上したが、継続指導が必要。</p> <p>⑤◇問題行動・3件4名 校長指導2件2名・教頭指導1件2名 ○各学年とも個々の生徒指導は当然あるが、全体的には落ち着いた学校生活を送っていた。</p> <p>⑥○いじめアンケート、学校生活アンケートをそれぞれ年3回実施し、いじめの防止、友人関係の改善や生徒指導に活用した。 【ネット依存防止プログラムによる職員生徒指導研修会】 ネット依存・依存傾向解析テスト結果と個表の読み取り・「宣誓書、報告書」について・個人相談「オンラインゲームから抜けたい・グループトークでのトラブル等」 ・スマホ等の校内持ち込み許可による大きな弊害は特になく、多くの生徒はルールを守っているが、校内での無断使用・登下校中のルール違反等の生徒も見られるため、日々の指導を継続する。 【救急救命法の実施による緊急時の対応】</p>	<p>A 26 %</p> <p>B 60 %</p> <p>C 14 %</p> <p>D 0%</p> <p>・朝礼、終礼、集会などを通して定期的に周知がなされている。 ・各行事によって生徒の内面的な向上を育てているように思う。 ・時代に合わせて校則や行事の見直しを検討するとよいと思う。それが教員の働き方改革にもつながると思う。 ・清掃への取り組みが不十分。クラス担任による温度差も感じる。 ・各部活などでよく指導している。ただし、それ以外の場面ではしっかりできているかが不明である。 ・交通ルール、マナーの指導が多く行われている。しかし事故も多く苦情電話も多い。今以上にルールとマナーを守る必要性を説いていく必要がある。 ・具体的な事故事例を伝え、事故予防の知識を教えることで予測能力の向上を図りたい。 ・生徒指導事例として一発退学になるような事例は減っているが、比較的大きな交通事故があつて、指導の必要性を感じる。 ・指導が行き届いてない部分もあると思う。 ・乙女塾は女子限定にするのではなく、同好会にして男子でも活動したい人は活動できるようにした方が時代に合っている。講座の内容的にも女子に限定するものではなく、男子が知っていたり、できたりしても良い内容である。 ・教員全員、学校全体で実施を検討していかないと変化は難しいように思う。 ・交通法規を遵守させるなど、社会性を身につけさせる指導がさらに必要である。 ・校風検査が意味をなしていない。指摘にとどまり、強制力がないのだから学校側（教員）の声も届いていない。 ・交通ルール、マナーに関する苦情が止まらなかった。 ・校則が緩くなったせいとか、道徳心の低下・欠如が見られる。 ・以前より校則が曖昧になっている部分がある。教員間で意思統一すべきである。</p>	<p>A 25. 0%</p> <p>B 75. 0%</p> <p>C 0%</p> <p>D 0%</p> <p>・明誠の生徒としての誇りを強く持てる指導を繰り返し続けることが必要だと思う。 ・学校へ行くと生徒が必ず挨拶をしてくれる。 ・校則は入学時にしっかり伝えるようにした方がよいと思う。最初にしっかり伝えなくて、曖昧になしてしまうと、そのままになってしまうと思う。 ・交通ルールやマナーについて、高校生は小中学生よりもよく知っているはずだが、中には安全な行動に結びつかない生徒もいる。 ・朝や帰りに担任の先生から繰り返し、声掛けをしていただければと思う。 ・引き続き交通事故対策をお願いしたい。 ・いじめ対策は積極的に取り組んでいる。イメージの維持を継続していただきたい。 ・挨拶などの内面的な指導に今後も（もっと）力を入れていただきたい。 ・乙女塾については時代に合った活動になるように改善すべきである。 ・校則等、教員間でルールが共有できていないと生徒に迷いが生じてしまうのではないかと。 ・スマホルール、交通ルール等、守らなければならないものの徹底をお願いしたい。</p>
			基本的な生活習慣の確立	<p>①欠席や遅刻等の減少を図る</p> <p>②正しい身だしなみの指導を徹底する 学年全体校風指導年6回実施</p> <p>③制服等の着用指導を徹底する</p> <p>④基本的な生活習慣の指導を職員の共通理解のもとに実施する</p> <p>⑤校則の遵守 六感染症等対策の実施・健康管理指導 手洗い、うがい・手指アルコール消毒・教室の換気等の習慣化を図る 保健室便りの発行。毎月1回さくらメールを利用</p>	<p>○学年校風指導を学年団の意思統一のもとで6回実施。服装面で大きな乱れもない。</p> <p>○基本的な生活態度はある程度確立されていた。 ・制服の着用状況は良好である。 ・体育、清掃・作業時以外のジャージ着用は見られない。 ・遅刻等の減少には至らなかった。</p> <p>○生徒は校則をおおむね遵守していた。 ・スマホ等のルールに関しては日常の継続指導が必要であり、慣れからルーズにならないよう注意。</p> <p>○各クラスに手指消毒薬の導入と教室の換気等を徹底させた。 ・マスクの着用は習慣化された（状況により着脱する）。</p>

				<ul style="list-style-type: none"> ・遅刻に対する指導が各担任任せである。遅刻の回数のカウントだけではなにもされていない。 ・スマホの校内での使用が常態化している。放課後の見回りでよく見かける。 ・服装についての指摘が例年より多かったと感じる。 ・挨拶の励行等、指導の温度差を感じるものと、予鈴着席、黙想、清掃指導などの形骸化が心配される部分がある。 		
部活動の充実	<p>①学習と部活動の両立を一層推進しつつ、生活面での指導も強化することにより、心身を錬磨し、自立的な精神と協調性を養う 【部活動加入率 80%以上】</p> <p>②県大会や全国大会への出場及び各大会での上位進出を果たす 【県大会出場：全ての部、全国大会出場：4部】</p>	<p>①○多くの生徒が部活動に加入している。 ○部活動加入率約 80% ○各部のテスト前の集団学習が活発であった。 ○各部とも積極的な活動が行われた。 ○大会・試合の結果のみならず、各部活動を通して人間形成にしっかりと取り組んでいる。 ◇登下校時の服装、早朝時の自転車走行注意 ・「併進、右側走行、一時停止」について指導。 ・早朝時の登校服装注意。</p> <p>②○チアリーディング部の全国大会 1 位、更に USA フロリダで開催されたワールドスクールチャンピオンシップ ゲームデイ部門 1 位と世界大会での大活躍があった。バスケットボール部は全国高校総体 3 位、全国高校選手権大会 3 位と優秀な成績を残した。陸上競技部は 1500m 走でのインターハイ出場。東海地区駅伝大会 2 位、全国高校駅伝への出場等活躍した。射撃同好会の全国大会出場、またサッカー部は、県高校総体の準優勝とインターハイ出場まであと一歩であり、東海プリンスリーグでも好成績を残した。多くの部が県大会に出場する活躍を見せた。文化部では、MLAC が英語ディベートでの全国大会に出場。棋道部も県大会団体戦準優勝、個人戦 3 位の成績を残した。また、吹奏楽部もコンクール等での活躍があった。</p> <p>○【県大会出場：ほとんどの部、東海地区大会：5部、全国大会出場：5部】 ・部活動ではないが、馬術で国体出場、数学オリンピックで東海地区予選 A ランク入賞等個々の生徒の活躍も見られた。</p>	<p>A 60 %</p> <p>B 38 %</p> <p>C 1%</p> <p>D 1%</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・結果もさることながら日々の活動が充実した形で実践されている。 ・部活動単位での朝の清掃奉仕等、よくなされていると思った。人間教育としては、試合等の成果よりも大事かと思う。 ・運動部の先生方は、寮での生活も含めてよく部員を見て指導していると思う。 ・バスケットボール・チアリーディング・棋道部・リベラルアーツなど文武で全国での活躍が見られた。また野球やサッカー陸上なども県、東海での活躍がみられた。 ・他の学校の全国クラスの部活動においては、学校と部活は別物的な指導がされているが、この学校は学校の規範の上に部活動指導があるので、良いと思います。 ・土曜日に対外試合があるので授業に影響が出る。土曜授業を何とかしてほしい ・部活動は充実している。文化部、運動部問わず全国でも活躍する部活動が増えているのは非常に良い傾向である。ただし、学校は学習が中心である、という意識を生徒達に持たせなければならない。 ・生徒たちも積極的であると思う。 ・全国区の部活動が多い反面、ちょうどよい、程よい部活の選択肢が少ない。 ・活動場所が限られている。（体育館） 	<p>A 87. 0%</p> <p>B 12. 5%</p> <p>C 0%</p> <p>D 0%</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・バスケ、チアなど部活動の活躍が素晴らしい。 ・部活動の充実が結果につながり、成果が出ている。 ・活動場所の検討が必要ではないか。 ・結果を出している。文武両道が明誠らしい指導となっている。 ・各方面で活躍していて、素晴らしい。 ・生徒たちの活躍ぶりには目を見張るものがある。先生方の指導の下で充実した活動をしているのだと推察している。 ・部活動が活発なのは良いことだと思う。全国大会に出場している部活を応援することもよい刺激になり、思い出にもなる。今後も頑張って全国大会に出場してもらいたい。 ・全国レベルの部活が多いが、ほどよく頑張れる部活（同好会）が少ない。 ・部活動で頑張っていることを勉強や生活面にもつなげ、生かしてほしい。 ・先生方に感謝である。

<p>ミ 広報・渉外活動の充実</p>	<p>効果的な広報活動による学校理解の促進</p> <p>①広報誌の発行、報道機関への周知等様々な手段を通して、本校教育に対する保護者や地域社会の理解を深める</p> <p>②ホームページ(HP)の更新を積極的に行い、効果的な情報発信を行う</p> <p>【年間アクセス数 600,000 アクセス】</p> <p>③学校説明会参加者を増やす情報を提供する</p> <p>④本校理解がより深まり、募集に効果的な内容にするために、広報誌等の見直しを行う</p> <p>⑤地域の自治会等への情報提供や学校行事への招待等を積極的に行い、学校理解の促進と広報の推進を図る</p>	<p>①○「明誠ニュース」「進路だより」保護者会広報誌「初心」など予定通り発行した。</p> <p>○部活動・同好会の様子を紹介し、中学生の多様性に対応できるように努めた。</p> <p>○保護者会地区会でも出された質問や要望への回答を文書で配布した。</p> <p>②◇HPのアクセス数が減少した。HPの更新を積極的に行い、内容の工夫も行いたい。</p> <p>・2022年4月1日～2023年3月31日のアクセス数は、543,024件</p> <p>③○学校説明会への参加者数(1日体験入学、直前相談会を除く)を増やすことができた。</p> <p>・H3は1,155人、H4は1,305人で150人増加した。</p> <p>④○見直しを行ったほか、新たに国際教養コースのリーフレットを発行、配布した。</p> <p>⑤○入学式、卒業式、文化祭、体育大会に自治会役員を招いた。</p>	<p>A 46%</p> <p>・多くの広報活動、行事が行われ、大変充実していると思う。</p> <p>・ホームページがとても見やすい。</p> <p>・メディアに取り上げられる場面が多く、注目されている学校の1つである。</p> <p>B 40%</p> <p>・十分過ぎるので、もっと減らしてもいいと思う。→一日体験授業は2日間もいらぬ。</p> <p>・実施はしているが効果的かと問われるとまずまずな部分が多い。</p> <p>・HPでも部活動の結果や、表彰内容などを明誠のホームページに掲載するようにすると、日常の様子や部活動の様子などがわかっていい。</p> <p>C 13%</p> <p>・他のSNSの活用することが重要だと感じる(バスケット部のインスタのようなもの)。</p> <p>・小学生や中学生を対象にしたクラブ活動を射撃等にも拡げていけば更に良いのではないかと。</p> <p>D 1%</p> <p>・外部での学校説明会時に、勉強のこだけしか話をされず、残念だったという声があった</p> <p>・必要に応じて、ホームページ等を通じて動画・画像等でもっと発信することが不可欠な時代であると認識している。</p> <p>・広報活動は実施しているが効果的とは言えない。職員全体で知恵を出し、効果的な募集活動をしていきたい。</p> <p>・広報活動で使用している学校紹介のビデオは教員全員が見るべきである。</p> <p>・国際教養コースの紹介が「オールイングリッシュ」と書かれているなど現場と大きく違っている。</p> <p>・第1回直前相談会の実施の必要性があまり理解できない。</p> <p>・経費削減のためにも保護者向け広報誌はさくら連絡網での配信が良いのではないかと。</p> <p>・英数科単願生徒を増やすための具体的な工夫が示されていないし実践されていない。放課後の校舎を利用し地元の優秀な生徒を囲い込むなどの具体的な動きを始めるべきである。</p>	<p>A 62.5%</p> <p>・HPの活用が不十分である。</p> <p>・HPやSNSなどの活用によって費用や先生方の負担を減らしながら広報活動を進めるべきではないかと思う。</p> <p>・保護者向けのもの「さくら連絡網」で配信した方が、保護者にとってもありがたい。</p> <p>B 37.5%</p> <p>・広報活動の更なる充実を努めていただきたい。</p> <p>・募集は学校経営の基本だと思う。卒業生も広報活動を担うことが期待できる。</p> <p>C 0%</p> <p>・一日体験は2日間位はあった方がいい。</p> <p>・クラブ活動紹介を射撃同好会等にも拡げること、よいと思う。</p> <p>D 0%</p> <p>・生徒のプライバシーに配慮したSNSによる積極的な情報発信は入学する判断材料として大きな役割がある。</p> <p>・ホームページが見やすく、分かりやすい。</p> <p>・学校説明会への参加人数の増加は喜ばしい。</p> <p>・国際教養コースの良さをもっと伝えて、「英語の壁」をなくしていけるといいと思う。</p> <p>・ネットのロコミは在校生で学校への評価が低い人が書き込んでいる。これを上げていけるといいのではと思う。</p> <p>・ホームページをもっと充実させた方がいいと思う。見たいと思うもの(内容)がない。</p> <p>・充実した活動に感謝している。</p> <p>・現役の生徒一人ひとり(の言動)が広報活動そのものになると思う。</p>
	<p>積極的な渉外活動の実践</p> <p>①小中学校への積極的な学校訪問等により募集の拡大を図り、併せて、入学者の増加に有効な方策を具体的かつ速やかに実施する</p> <p>②焼津・藤枝・島田・榛原・小笠・袋井の小中学校を対象とし、組織的に募集活動を展開する</p> <p>③学習塾への訪問を行い、募集の拡大を図る</p> <p>④県外募集の充実を図り、有為な生徒の確保に努め、入試内容・方法について見直す</p> <p>⑤「一日体験入学」「入試直前相談会」の充実、取り組みの強化を図る</p> <p>【学則定員の確保】</p>	<p>①○年間の生徒・保護者の総動員数は4,227人となり、昨年度より84人減少した。</p> <p>②○志太・榛原・小笠・袋井地区への中学校訪問を職員で分担し、3年主任や進路指導主事と直接面談して募集拡大を図った。また、静岡地区では重点校を絞って募集活動を行った。さらに、学習塾への訪問を積極的に行った。</p> <p>③○副校長が学習塾への訪問を積極的に行った。</p> <p>④◇福岡奨学生入試オープンでは、単願合格者はいなかった。</p> <p>・学習特待生の入学につながるような方策を検討する必要がある。</p> <p>・札幌奨学生入試は受験者がなく、札幌一般入試は受験者が2人であった。</p> <p>・1日体験入学の参加者は2,387人で、昨年度より176人減少した。</p> <p>・入試直前相談会の延べ参加者数は540人で、昨年度より62人減少した。</p>	<p>A 47%</p> <p>・諸行事への参加が多くあり、一定の効果が見られている。</p> <p>・毎回大変な仕事であるが、しっかり実施されていると思う。</p> <p>・むしろ十分すぎるくらいで授業に支障が出ていないとは言えない。</p> <p>・実施はしているが効果的かと問われるとまずまずな部分が多い。</p> <p>B 43%</p> <p>・教員に余裕がないが、可能であれば、中学校に出向いて学校説明や出前授業を行ったらいいと思う。</p> <p>・各先生が時間を割いて学校回りをしているが、効果があるか不明なことと仕事量の増加につながっていないか。</p> <p>C 7%</p> <p>・中学訪問は職員全員で行うようにしてほしい。ほぼ毎年、同じメンバーで実施しており、負担が大きい。</p> <p>D 3%</p> <p>・手分けしての中学校訪問は大変だが効果はあるかと思う。</p> <p>・校内外の活動がタイムリーに可視化できていない面が多々ある。</p> <p>・授業変更などをして、学校訪問に向かう教員が多数存在する。これでは本末転倒ではないか。教員による学校訪問は一考すべきである。</p> <p>・札幌入試は効果が薄く、中止してよいのではないかと。</p> <p>・少子化や物価高、コロナや感染症など社会情勢が大きく動く中、渉外活動において行っている施策は変化がない。</p>	<p>A 62.5%</p> <p>・先生方の負担が大きいからこそ、より効率のよい活動が行えるような検討が必要である。</p> <p>・限られた人材の中での、努力がうかがえる。</p> <p>・さまざまな方策の実施について、しっかり取り組んでいると察する。</p> <p>B 25.0%</p> <p>・渉外活動は大切なことなので、内容について検討していただき、最善の方法を取っていただきたい。</p> <p>・先生方の負担を減らして、授業等の質を上げていただけるとありがたい。</p> <p>C 0%</p> <p>・入試前の個別相談によって進路が変わる場合もある。相談を担当する教員から、いろいろなアドバイスをしていただけると入学につながると思う。</p> <p>D 12.5%</p>

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">＜ 教育施設・設備の活用</p>	<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">安全で快適な教育環境の実現</p>	<p>①学習活動や部活動が安全かつ快適に実施できるよう常に配慮する トイレ・水場の清掃活動の徹底。教室・廊下のポリッシャー清掃の推進</p> <p>②清掃状況を具体的に指示し学年主任や清掃担当と協力して清掃指導の徹底を図る。また、事後の点検では不定期で総務課による点検を行う</p> <p>③破損箇所の把握と迅速な修繕を図る。 【6月・11月・2月の一斉点検実施】</p> <p>④電気、紙等の節約を励行し、経費と資源の有効活用を心がける。</p> <p>⑤消灯、戸締まりの徹底を図る。 ・トレーニングルームの使用について注意・説明会を行う。 ・夜の施錠確認は日直と引継ぎ者の報告から不備のあった施設の管理担当に報告する。また全体への連絡により徹底を図る。</p> <p>⑥地震発生時の避難や防災に関する訓練・学習会を実施し、生徒の安全を確保する。</p> <p>⑦原子力災害に対する避難計画を作成する</p>	<p>①〇毎水曜日早朝に理事長点検を実施し、施設の安全を確保した。 清掃活動に力を入れた。 水場・トイレ・階段の清掃状況は安定している。 テスト期間の簡単な清掃がおろそかになっている。 教室・廊下のポリッシャー清掃も多くの箇所で行った。</p> <p>②清掃監督者と協力を図りながら清掃指導はできているが、事後の点検に改善の余地があった。</p> <p>③破損箇所の報告と修繕は迅速に行われている。</p> <p>④消灯、空調のスイッチオフ等の節電については、夏場を除けば改善されている。 職員への配布物に関しては掲示板の有効に活用、家庭への配布物に関してはさくらメールを有効活用することができた。</p> <p>⑤全体的に未施錠件数は減少した。 部室や活動場所の未施錠についても減少している。 トレーニングルームの施錠状況は改善した。</p> <p>⑥5月に防災避難訓練、8月に防災学習を実施した。 放課後等、教員による消毒箇所を決め、できる限りの消毒作業を実施した。</p> <p>〇防災マニュアルを常時活用できるように生徒手帳に添付にした。</p> <p>⑦原子力災害に対する避難計画は未作成であった(藤枝市の指針が未発表のため)。</p>	<p>A 20%</p> <ul style="list-style-type: none"> ・老朽化は否めないが、しっかりと補修し、充実した環境を保っている。 ・3、4階の工事が完了するのが待ち遠しい。 <p>B 53%</p> <ul style="list-style-type: none"> ・老朽化が目立つようになってきているが、適切な修繕が行われ、問題ないと思われる。 ・新校舎建設等の抜本的な将来を見据えてのビジョンがあってもよいかと思う。 ・工事が入ってこれから良くなっていくであろう。 <p>C 24%</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調理室 3F 理科室 家庭科室にエアコンを設置すべき。特に3F 理科室は、エアコンがないため、夏休み中に行う一日体験学習、小学生理科体験教室に使用できない。 ・トイレが洋式になり、快適に用を足すことができ清掃もしっかりできるようになったと思う。 ・清掃箇所の指導・点検が担当職員により差がある。生徒の様子や清掃後の状態などを確認して翌日の活動に活かしてもらいたい。 ・全てのトイレの洋式化。 ・体育館の雨漏りを改修すべきである。 ・グラウンドの全天候走路がデコボコでとても使える状況でない。 ・教室の窓の外に転落防止柵を設置すべきである。 ・冷暖房の問題が片付けば、学校の動線の問題に移るのが良いかと思う。 ・空調設備の見直し ・体育館の環境悪化 ・エアコンが効かない。窓ががたつく。ロッカーのふちで制服を破った生徒が多数いる。 ・職員室の環境が悪い。狭く、冷蔵庫の使用状況など衛生面も悪い。 ・静かな環境で仕事をしたい教員が大部分だが、大声で話したり、私語で長い間盛り上がりすぎる教員がいる。管理職にその場で注意してもらいたい。 ・体育館のステージ設営や、パネルの設置等、注意事項が多く危険にもつながる。そのためマニュアル等の伝達が必要かと思う。 ・防災訓練をより現実に近い形で実施してほしい。自教室以外の教室での実施や、非常勤の先生も含めた実施もすべきである。 ・経年劣化や校舎の構造上による汚れ、不潔さが気になる(踊り場の窓付近、トイレ、来賓トイレの洗面台など)。 ・エアコン、黒板、教室の広さなど問題が山積している。 	<p>A 0%</p> <ul style="list-style-type: none"> ・よりよい学習環境となるように様々な工事をしてくださっているが、まだまだ充分であるとは思えない点がある。 <p>B 100%</p> <ul style="list-style-type: none"> ・老朽化は仕方がないが、老朽化と不衛生であることは別である。 ・環境整備に努力されている様子がうかがえる。 ・施設の修繕箇所に対して、引き続き対策を講じていただきたい。 <p>C 0%</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計画通りの対策が取れていると思う。大変だとは思いますが、快適に勉学に励むことができる場の提供をお願いしたい。 ・安全重視をお願いしたい。 <p>D 0%</p> <ul style="list-style-type: none"> ・以前、空調の修繕をお願いしたところ、すぐに取り入れ、工事を始めてくださり、とてもありがたいと思う。 ・今後も老朽化しているところは直していただけるようお願いしたい。 ・清掃はしっかりできていると思う。 ・自分自身が毎日生活する環境である。生徒も教職員も常に感謝の気持ちを持って生活してほしい。
---	--	--	---	--	---